

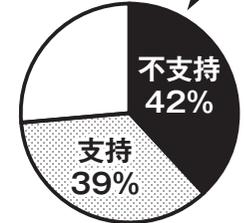
未来を守れ 子どもを守れ 戦争する国 ストップ!

憲法違反の安全保障関連法案(=戦争法案)の、衆議院での強行採決に国民の怒りが沸騰しています。

国民の8割が「政府の説明は不十分」と慎重審議を求めているのに、その国民の声を踏みにじって「戦争する国」へ暴走する安倍政権。

憲法違反の法案を、民主主義破壊の方法で成立させようとするなど、まるで独裁政治です。国民の声で、安倍政権の暴走をストップさせましょう。

民意は安倍政権NO!



7月11日・12日
朝日新聞
世論調査

国民の声を聞け

ゆるせません 戦争法案 衆院 強行採決

！ 学者も弁護士も、若者もママパパも ● 戦争法案にレッドカード

「戦場に行かされるのは僕ら。僕らの未来を勝手に決めるな」いま、若者が「戦争法案を本気で止める」と各地で声を上げています。若いママパパも「子どもの未来を守れ」と各地でパレード。日本弁護士連合会も憲法学者も「憲法違反だ」と断じました。ノーベル賞受賞者の益川敏英さんらが呼びかけた反対声明に賛同した学者・研究者は10000人を超えました。

地方議会での「廃案」「慎重審議」を求める意見書は全国で300議会にのぼっています。「戦争法案NO!」の声と運動が安倍政権を追いつめています。

！ 憲法違反の「戦争法案」は ● 廃案しかありません

安倍政権は、国会会期を戦後最長の95日間延長して、何としても、戦争法案を成立させようとしています。

しかし、戦闘地域での武器使用の拡大や、「後方支援」と言う名の兵站は、どう言いつくろっても、9条違反の「武力の行使」にほかなりません。

日本が攻撃されていないのに他国防衛のために戦う「集団的自衛権の行使」は明白な憲法違反です。

憲法違反の戦争法案は、廃案しかありません。

「戦争だけはいやだ」の ひとり一人の声を集めて

この戦争法案の先にある「戦争する国」は、すべての国民を戦争に駆り出す国です。国の命令一つで戦争推進のための仕事をさせられるなど、ごめんです。「戦後」を次の戦争の「戦前」にはなりません。戦後70年の今年、この「戦後」がいつまでも続くように、ご一緒に声を上げましょう。

憲法共同センター (戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター)

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4F
TEL 03(5842)5611 FAX 03(5842)5620
<http://www.kyodo-center.jp/>